

## 三つの煩惱や神話語る

荒俣宏さん講演に120人

華師寺月例

### まほろば塾

日本人の美しい心や豊かな文化を伝える「月例奈良

まほろば塾」(読売新聞社後援)が17日、奈良市の薬師寺で開かれた。作家の荒俣宏さんが講演し、約120人が聴き入った。



仏教の考えや神話について講演する荒俣さん(奈良市で)

荒俣さんは博物学、神秘学など分野を超えた作品の執筆を続けている。講演では、仏教用語で「三毒」と呼ばれる欲望、怒り、無知の三つの煩惱に言及し、「無知であることは生命が滅びる源になる。コミュニケーションを取ることで知性だ」と強調。植物も含め、あらゆる生命体がコミュニケーションを取っていると説明した。

また、薬師寺に絡めて「医学による救いの手がわかりやすいシンボルとなったからこそ、日本で仏教が受容されたのではないか」と語り、医薬の神として信仰を集めるスクナヒコナの神話を紹介した。

講演は10月中旬にまほろ

ば塾ホームページで配信される(有料、まほろば塾推進の会会員は無料)。次回は11月19日、作家で元神戸松蔭女子学院大教授の楠木新さんが講演する。